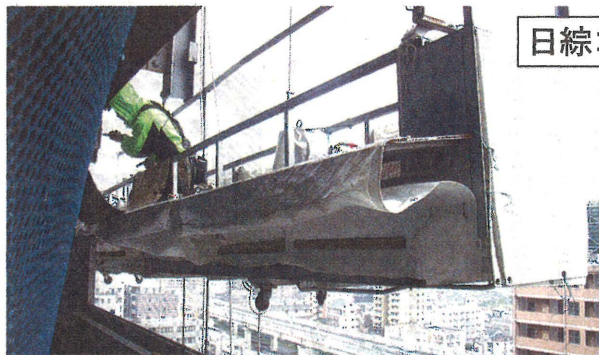


建設通信新聞

Architectures, Constructions & Engineerings News (Daily)

2013年(平成25年)11月1日(金曜日)

(第三種郵便物認可)



日綜ゴンドラ パネル揚重機システム

日綜ゴンドラ(本社・る)と話す。

東京都中央区、比留間純(社長)が開発したパネル揚重機システムが、省力化や安全性などで評価されている。写真。システムを導入した東京都発注の都立墨東病院増築等の工事現場を率いる大河内祥志(戸田・京成・坂田JV)所長は、「すべて足場で計画していたが、労働者不足なので揚重機システムを採用した。コストもトータルでは安くないが、高層のすべてに足場を仮

ンで外装材を揚重するよりも、システムを使ったほうが低コストでできる。システムは、通常のデッキ型ゴンドラと揚重機を組み合わせている。ゴンドラの内側に、揚重機の外装材のサイズに合わせた吊りせ、幅3・6呎、5・5呎、7・1呎の3種類、まま取り付けと仕上げを同時にできる。揚重機は、手元の無線操作で上下左右に外装材を移動させることができるため、墜落・転落などの事故防止に役立つ。安全性が高い。システムを開発した後も改良を重ねていたが、ほぼ満足

省力化、安全性が高評価

設する予定だったが、作業者の確保が難しいことに加え、「足場の組み立てに手間12件だったが、今後は2倍の年間24現場のため、近隣から騒音の苦情も心配だったことを採用の理由に挙げた。

費用面は、単純に比較すると足場よりもシステムが若干高いが、「労務不足の中で単価どおりにできるのか、工程が遅れないか」などを総合的に考えると、実際にはコストが安くなると指摘した。また、タワークレー

今回の現場は都立墨東病院(23)増築及び改修工事、増築棟の規模はS・SRC造地下2階地上12階建て延べ1万2812平方呎。工期は2011年1月から15年3月まで。建設地は墨田区江東橋4-23-15。設計監理は伊藤喜三郎建築研究所が担当している。

日刊建設産業新聞

発行所

日刊建設産業新聞社

本社 東京都板橋区板橋1-48-9

〒173-8710 電話 03(3961)1691(代表)

ファクス 03(3961)2251

http://www.kensan-news.com/

支社

大阪、神奈川、九州、中国、東北、甲信越

支局

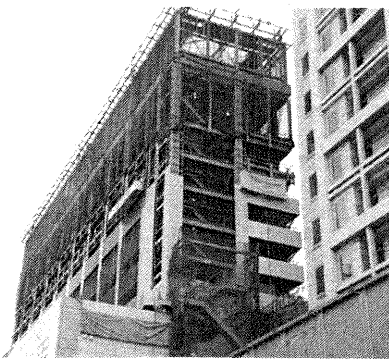
埼玉、中部、神戸、岡山

© 日刊建設産業新聞社

2013

ゴンドラ揚重機 併用で工期短縮

東京都が進める「都立墨東病院(23)増築及び改修工事」の現場では、足場を組まずに高所作業ができる日綜産業関連会社の日綜ゴンドラ社製の「パネル揚重機システム」が採用されている。感染症および救急対応を強化するため、既存病棟の隣



外側から見たシステムの様子

に乗って取り付ける作業を2〜3人1組で行う。同システムはデッキ型ゴンドラと揚重機の複合体。小型無線で、縦横方向に同時並行操作が可能だという特徴が作業効率の向上につながっているという。

都立墨東病院増築に採用

に12階建ての増築棟を建設する工事の中で、同システムは6階以上の高層階の外装パネル・仕上げ工事に使われており、工期短縮に効果をあげてい

る。建物の外周にゴンドラは3・6〜7・0階の3種類5台、揚重機は4台を設置。揚重機で地上から作業階へ運んだパネルを受け取り、ゴンドラ

日綜ゴンドラ

していたが、どの現場も言っているように人が足りない。(システムを)採用することで、労務の低減ができた。コストの面からいえば、現在の物



戸田JV 大河内所長

は「元々は給足場を計画していたが、この現場に向けて、進捗率は建設工事の70%。施工者の戸田建設・京成建設・坂田建設JVの大河内祥志所長

価では多少高くつくが、工期が遅れることなど比べれば、トータルでメリットがある」と評価。騒音を抑える効果にも触れ、作業員からの評判も上々だという。
工事場所は墨田区江東橋4・41、敷地面積は1万7574.68平方メートル。11年1月に着工。増築棟の施設規模は地下SRC造地上S造地下2階地上13階建て延べ1万2812.28平方メートル。最高高さ55.55メートル。設計監理は伊藤三郎建築研究所。来月から既存建物の改修工事も始まり、全体竣工は15年3月末に予定。総事業費は70億円。

2013年(平成25年)

11月1日(金)

第18370号
Since 1936

日刊

産業新聞

Japan Metal Bulletin

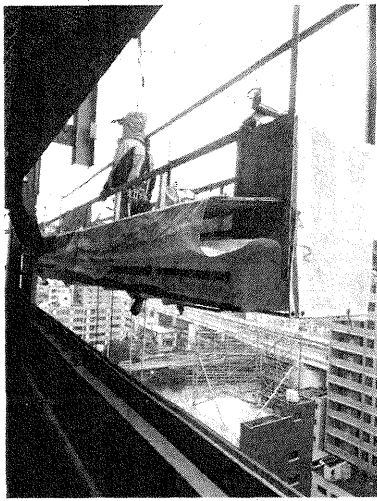
パネル揚重機システム

採用工事現場で見学会

日綜 Gondra

日綜産業グループの
日綜 Gondra (比留間
純社長) は29日、東京
都墨田区の都立墨東病
院で行われている「都
立墨東病院増築及び改

修工事」(建築主＝東京
都、施工＝戸田・京成
・酒田建設共同企業
体)で見学会を開催し、
同社が出荷した「パネ
ル揚重機システム」を
紹介した。デッキ型ゴ
ンドラと揚重機を併用
し、外装材の揚重から
取り付け、仕上げ工事
までを一貫して行うシ
ステムで、同現場では
病院南側にある増築棟
の6階以上の工事を用



外装材の取付け作業に活躍

いられた。

同現場は、「当初は総
足場で外装材を取り付
ける計画だったが、労
務の人手不足がある中
で、工期短縮などト
タルコストに優れた。パ
ネル揚重機システムを
採用した」(大河内祥志
・作業所長)。同システ
ムはタワークレーンや
重機などを使用しない
ため、鉄骨建方と外装
材の取り付け・仕上げ
を同時施工で進行し、
取り付け作業のコスト
低減や外装工期の短縮
を可能とする点の特
徴。2007年からス
タートし、現在は年間
12件のペースで出てい
るが、「今後は年間24件
まで倍増を目指した
い」(日綜 Gondra・武
田光寿部長) 考えだ。

日本工業経済新聞

発行所
日本工業経済新聞社
水戸支局

茨城県水戸市笠原町978-25
茨城県開発公社ビル1階
電話 029(301)1055
FAX 029(301)1066

本社 東京都文京区千駄木3-36-11
電話 03(3822)9211
URL: www.nikoukei.co.jp

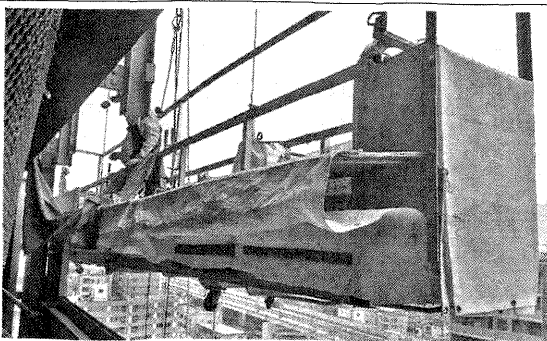
©日本工業経済新聞社

パネル揚重機システム採用

日綜ゴンドラ

日綜ゴンドラ(本社・東京都中央区、比留間純代表取締役社長)のパネル揚重機システムが、戸田建設・京成建設・坂田建設JV施工の「都立墨東病院(23)増築および改修工事」(東京都墨田区)で採用されている。デッキ型ゴンドラと揚重機を併用し、取り付けおよび仕上工事までを同時施工で進行。外装材の取付作業の稼働低減、取付作業のコスト低減と外装工期の短縮を図ることができる。

揚重機は、手元無線操



パネル揚重機システム

寿営業部長は「システムは6年前より採用し、これまでの実績は20現場。年間24現場を目標に営業展開していく」と話す。

施設は、S造SRC造地下2階地上12階建て、延べ床面積1万2812.28㎡、最高高さ55.55m。発注は東京都。

作で上下横行の同時操作が可能。最大吊下荷重は1tまでとなっている。現場の大河内祥志所長は「元々は、総足場の計画だった。労務不足の深刻化を解消するためにも採用した。初期コストは高いかもしれないが、トータルコストは安かったと思う。省力化も図れた」とコメント。

日綜ゴンドラの武田光



発行所
日本工業経済新聞社
さいたま支局

さいたま市浦和区岸町7-5-21
電話 048(613)6566
FAX 048(613)6549

本社 東京都文京区千駄木3-36-11
電話 03(3822)9211
URL: www.nikoukei.co.jp

©日本工業経済新聞社

パネル揚重機システム

日綜ゴンドラ

都立病院増築改修工に採用

日綜ゴンドラ(比留間純代表取締役社長、本社、東京都中央区)のパネル揚重機システムが、戸田建設・京成建設・坂田建設JV施工の都立墨東病院(23)増築および改修工事で採用されている。

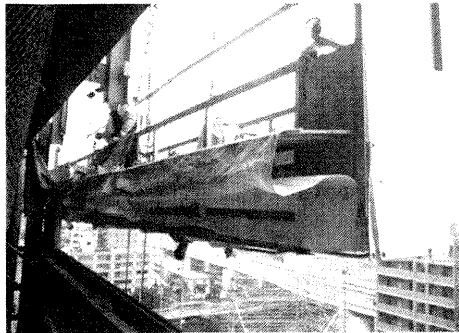
デッキ型ゴンドラと揚重機を併用し、取付および仕上工事までを同時施工で進行。外装材の取付作業機の稼働低減、取付作

「タクルコストは安かったと思う。省力化も図れた」とコメント。

日綜ゴンドラの武田光寿営業部長は「システム

は、6年前より採用し、これまで実績は20現場。年間24現場を目標に営業展開していく」と話す。

施設(東京都墨田区)



年間24現場での採用
を目指すシステム

は、S造S
RC造地下
2階地上12
階建て、延
べ床面積1
万281
2・28
㎡、最高高
さ55・55
m。工事発
注は東京
都。

建通新聞

東京

発行所 建通新聞社
首都圏本部東京支社
東京都港区新橋4-9-1
新橋プラザビル16階
〒105-0004 電話(03)5425-2070
多摩支局 電話(042)527-7291
<http://www.kentsu.co.jp/>

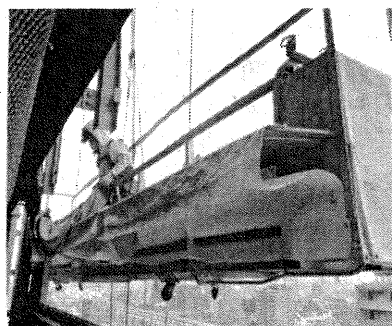
©建通新聞社 2013

発行紙
神奈川／静岡／中部／大阪／岡山
香川／徳島／愛媛／高知

P-UP工法 提案を強化

日綜ゴンドラ

日綜ゴンドラ(中央区)は、タワークレーンや重機などを使用せずに外装材の揚重から取り付け、仕上げまでの施工が可能。な「パネル揚重機システム(P-UP工法)」の真の提案を強化する。システムは、デッキ型ゴンドラと揚重機を併用



した施工システムで、最上部に取り付ける吊元アームやゴンドラ、走行レールなどで構成。揚重機の最大荷重は約1トで、手元で無線操作が可能。クレーンや重機を使用しないため、鉄骨建方と外装材の取り付けや仕上工事を同時に施工することができ、取付用重機の稼働低減、コスト縮減、工期短縮が可能だという。戸田・京成・坂田建設特定JVで施工が進む「都立墨東病院(23)増築および改修工事」で採用されており、現場の大河内祥志所長は「トータルコストは安くなり、足場構築の騒音も軽減できる」と話す。設置・解体などは日綜ゴンドラ(中央区)が担当している。

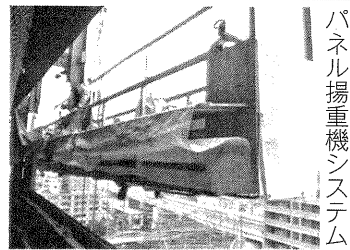


発行所
日本工業経済新聞社
 前橋支局
 群馬県前橋市問屋町1-1-1
 電話 027(210)8200
 FAX 027(210)8500
 本社 東京都文京区千駄木3-36-11
 電話 03(3822)9211
 URL: <http://www.nikoukei.co.jp/>
 ©日本工業経済新聞社

日綜ゴンドラ

パネル揚重機システム 都立病院改修で採用

日綜ゴンドラ(比留間 田建設JV施工の都立墨
 純代表取締役社長、本 東病院(23)増築および
 社・東京都中央区)のパネル揚重機システムが、
 改修工事で採用されてい
 戸田建設・京成建設・坂 デッキ型ゴンドラと
 る。



パネル揚重機システム

揚重機を併用し、取付お
 よび仕上工事までを同時
 施工で進行。外装材の取
 付用重機の稼動低減、取
 付作業のコスト低減と外
 装工期の短縮を図ること
 ができる。

揚重機は、手元無線操
 作で上下横行の同時操作
 が可能。最大吊下荷重は
 1tまでとなっている。
 現場の大河内祥志所

長は「元々は、総足場の
 計画だった。労務不足の
 深刻化を解消するために
 も採用した。初期コスト
 は高いかもしれないが、
 トータルコストは安かつ
 たと思う。省力化も図れ

た」とコメント。
 日綜ゴンドラの武田
 光寿営業部長は「システ
 ムは、6年前より採用し、
 これまでの実績は20現
 場。年間24現場を目標に
 営業展開していく」と話

す。
 施設(東京都墨田区)
 は、S造SRC造地下2
 階地上12階建て、延べ床
 面積1万2812.28
 m²、最高高さ55.50m。
 発注は東京都。



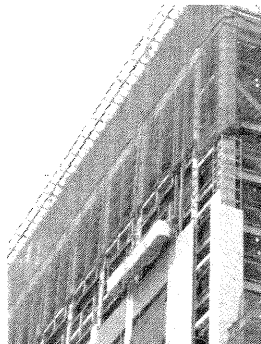
発行所
 日本工業経済新聞社
 甲府支局
 甲府市丸の内3-20-7
 電話055(232)5271
 FAX055(232)5273
 E-mail:kofu@ns.nikoukei.co.jp
 本社 東京都文京区千駄木3-36-11
 電話03(3822)9211
<http://www.nikoukei.co.jp/>
 ©日本工業経済新聞社

都立病院改修工で採用

日線ゴンドラ

パネル揚重機システム

日線ゴンドラ(比留間純代表取締役社長、本社・東京都中央区)のパネル揚重機システムが、戸田建設・京成建設・坂田建設JV施工の都立墨東病院(23)増築および改修工事で採用されている。デッキ型ゴンドラと



現場での採用を24年目とする。初期コストは高いが、ト

刻化を解消するために採用した。初期コストは高いが、ト

揚重機を併用し、取付けよび仕上工事までを同時施工で進行。外装材の取付け作業の稼働低減、取

装工期の短縮を図ることが可能。最大吊下荷重は1tまでとなっている。現場の大河内祥志所長は「元々は、総足場の計画だった。労務不足の深

刻化を解消するために採用した。初期コストは高いが、ト

装工期の短縮を図ることが可能。最大吊下荷重は1tまでとなっている。現場の大河内祥志所長は「元々は、総足場の計画だった。労務不足の深

刻化を解消するために採用した。初期コストは高いが、ト

装工期の短縮を図ることが可能。最大吊下荷重は1tまでとなっている。現場の大河内祥志所長は「元々は、総足場の計画だった。労務不足の深

刻化を解消するために採用した。初期コストは高いが、ト

装工期の短縮を図ることが可能。最大吊下荷重は1tまでとなっている。現場の大河内祥志所長は「元々は、総足場の計画だった。労務不足の深

刻化を解消するために採用した。初期コストは高いが、ト

装工期の短縮を図ることが可能。最大吊下荷重は1tまでとなっている。現場の大河内祥志所長は「元々は、総足場の計画だった。労務不足の深

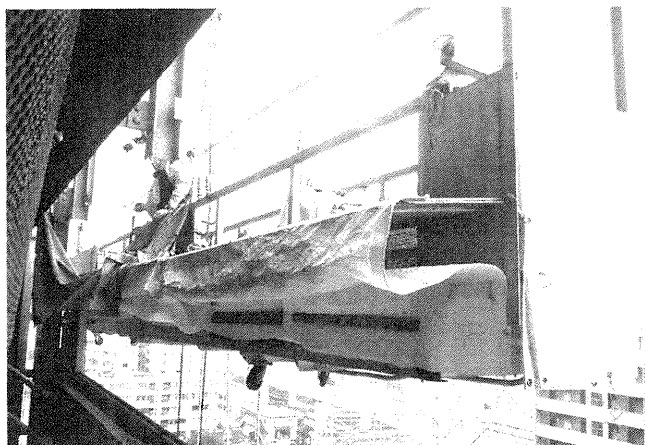
刻化を解消するために採用した。初期コストは高いが、ト

装工期の短縮を図ることが可能。最大吊下荷重は1tまでとなっている。現場の大河内祥志所長は「元々は、総足場の計画だった。労務不足の深

刻化を解消するために採用した。初期コストは高いが、ト

日刊建設タイムズ

パネル揚重機システム 日綜ゴンドラ 都立病院増築改修工で採用



日綜ゴンドラ(比留間純代表取締役社長、本社・東京都中央区)のパネル揚重機システムが、戸田建設・京成建設・坂田建設JV施工の都立墨東病院(23)増築および改修工事で採用されている。デッキ型ゴンドラと揚重機を併用し、取付および仕上工事までを同時施工で進行。外装材の取付

日綜ゴンドラ(比留間純代表取締役社長、本社・東京都中央区)のパネル揚重機システムが、戸田建設・京成建設・坂田建設JV施工の都立墨東病院(23)増築および改修工事で採用されている。デッキ型ゴンドラと揚重機を併用し、取付および仕上工事までを同時施工で進行。外装材の取付

年間24現場での採用を目指すシステム

用重機の稼働低減、取付作業のコスト低減と外装工期の短縮を図ることができ

る。揚重機は、手元無線操作で上下横行の同時操作が可能。最大吊下荷重は1tまでとな

「元々は、総足場の計画だった。労務不足の深刻化を解消するためにも採用した。初期コストは高いかもしれないが、トータルコストは安かったと思う。省力化も図れた」とコメント。

日綜ゴンドラの武田光寿営業部長は「システムは、6年前より採用し、これまでの実績は20現場。年間24現場を目標に営業展開していく」と話す。

施設(東京都墨田区)は、S・SRC造地下2階地上12階建て、延べ床面積1万2812・28㎡、最高高さ55・55m。発注は東京都。

鋼構造・プロジェクト産業 専門紙
エンジニアリング・建材

週刊 鋼構造ジャーナル

2013

11/11 NO. 1639

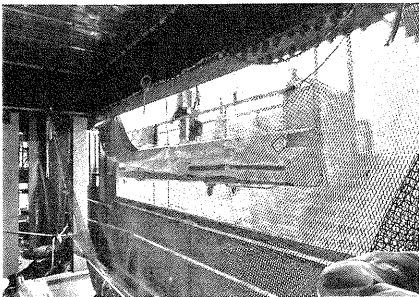
週刊(毎週月曜日発行)／購読料・1か年49,500円、6か月27,000円(税・送料とも)／昭和55年9月26日第三種郵便物認可／発行所・株式会社 鋼構造出版／発行人・田中正幸 編集人・大熊毅／本社・東京都中央区日本橋茅場町2-2-2 三遊ビル5階 電話 東京03(5542)7011(代表) F A X 03(5542)7077／大阪支社・大阪市西区西本町1-14-3 本町コスモビル 電話 大阪06(6536)2601(代表) F A X 06(6536)7603／札幌支局・札幌市白石区北郷4条3丁目2-21 電話011(879)7666 F A X 011(873)3636／埼玉銀行口座・みずほ銀行京橋支店024-1044873／郵便振替口座 東京00130-9-13713

病院工事にパネル揚重機システム トータルコスト低減で効果発揮

日綜ゴンドラ

日綜産業グループの日綜ゴンドラ(東京都中央区日本橋人形町、比留間純社長)が開発したゴンドラと揚重機を併用した「パネル揚重機システム」がこのほど、「都立墨東病院増築及び改修工事」(施工Ⅱ戸田・京成・坂田JV)に採用

ゴンドラを使用して作業



外装材を取り付ける際にタワークレーンや重機などを使用しないため、鉄骨建方

と外装材の取り付けおよび仕上り作業までを同時施工で行うことができる。このため、タワークレーンなどの揚重機稼働率低減、取り付け作業のコスト低減、工期短縮などのメリットがある。

今回採用した都立墨東病院増築及び改修工事は、東京都の区東部感染症診療機能の強化、救急対応の強化、総合医療の強化を図るため、老朽化した寄宿舎を解体しE R / 感染症病棟の増築と

既存の診療諸室の再配置と機能を強化する改修を行うもの。発注は東京都。そのなかの増築棟工事は、地上12階、地下2階、地上部S造、地下部SRC造、延床面積1万2812・28平方メートル。使用鋼材はSN490級、最大板厚40ミリ、使用量は構真柱を含めて3000トン。製作はSグレイドのヤマネ鉄工建設(山口県)が担当した。

同工事作業所の大河内祥志所長は「計画当初はすべて総足場で計画していたが、高層部分を同システムと従来的の揚重計画と比較検討した結果、大幅なコスト低減が実現できるなどの効果があることから採用した。ひっ迫している労務者対応でもメリットを発揮している。作業者にもおおむね好評だ」と述べた。

同社では今後、年間20件以上の採用を目標に積極的な営業展開を実施していく。